

令和8年度 安城市のお金の使い道

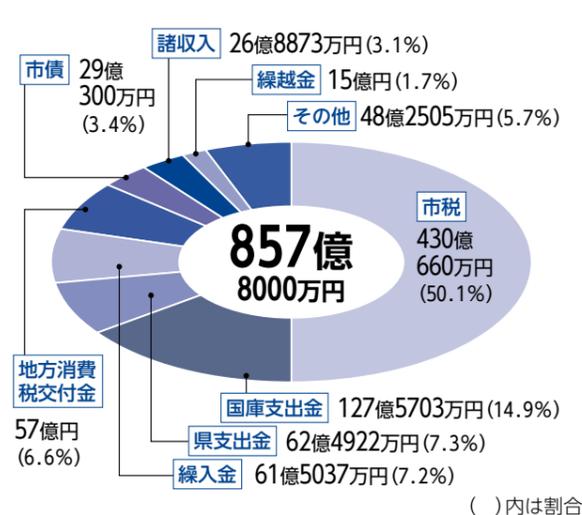
令和8年度当初予算は、第9次総合計画に基づく目指す都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の実現に向け、限られた財源を効果的に配分するとともに、持続可能な財政運営を堅持する予算編成としています。

最少の経費で最大の効果を上げるため、必要経費や業務内容を精査する一方、特に総合計画に掲げる3つの重点戦略「しくみ」「ちから」「ばしよ」の各施策については積極的に予算計上し、一般会計当初予算額は、前年度に対し2.9%、24.2億円増となる過去最大規模の857.8億円としています。

一般会計予算額 857億8000万円 (前年度比24億2000万円増)

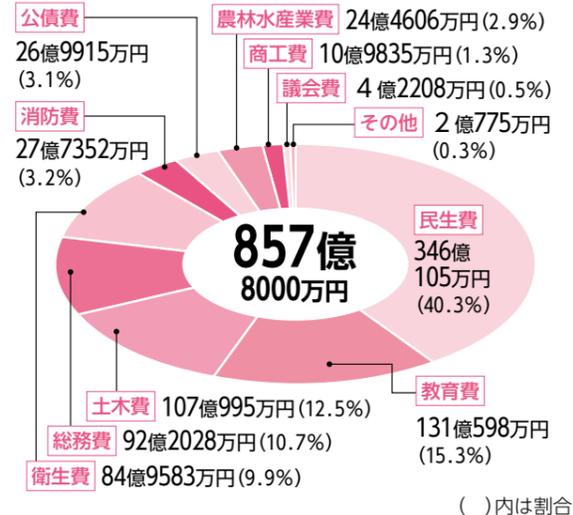
歳入

行財政運営の根幹となる市税収入を430億円余(前年度比11億7000万円余増)と見込む他、事業実施にあたり国や県から交付を受ける補助金等を前年度から4億3000万円余増の190億円余を計上し、不足する財源は、基金からの繰入金や市債により90億5000万円余を計上しています。



歳出

不妊治療等支援事業、小中学校給食費無償化事業等のこども関連施策を始め、愛知・名古屋2026アジア競技大会の開催に向けた事業や、通学路の交通安全対策として行う道路整備事業等、3つの重点戦略のバランスが取れた予算計上を行いました。



特別会計予算額 318億1700万円 (前年度比12億4500万円増)

高齢化の進展やそれに伴う給付費の増加等により、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の予算額が増額となりました。

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	153億6200万円	+2.4%
土地取得	400万円	+300.0%
有料駐車場事業	2億5900万円	+8.8%
介護保険事業	125億2100万円	+4.7%
後期高齢者医療	36億7100万円	+8.8%

企業会計予算額 118億2200万円 (前年度比1億700万円増)

会計名	予算額	前年度比
水道事業	58億9100万円	+19.7%
下水道事業	59億3100万円	-12.7%

一般会計 子育て支援や道路整備等、市の運営の中心となる会計
特別会計 国民健康保険や介護保険のように対象者が限られる等、一般会計と区別する必要がある会計
企業会計 民間企業のように利用料金等の収益で運営している会計

令和8年度の主な事業

第9次総合計画「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の3つの重点戦略「しくみ」「ちから」「ばしよ」に分けて、主な事業を紹介します。



しくみ



ちから



ばしよ

しくみ

●不妊治療等支援事業 【3551万円】

不妊や不育に悩んでいる夫婦(事実婚を含む)に対し、経済的な負担を軽減するため、治療費等の一部を助成します。



●出会い・結婚BOOST事業 【2703万円】

結婚に対する意識醸成から結婚の希望を実現できる環境の整備まで幅広くサポートし、若い世代の結婚をBOOST(支援)します。



その他の主な事業

- 多文化共生拠点整備事業【3150万円】
- 小中学校給食費無償化事業【10億1600万円】

ちから

●アジア競技大会推進活動事業【3585万円】

9月・10月に開催の愛知・名古屋2026アジア競技大会に多くの市民が携わり、身近に感じられるような機会の提供と機運の醸成を図ります。



●デンパーク・道の駅リニューアル事業【3億1200万円】

令和9年度のデンパーク開園30周年に向けて、道の駅とデンパークをリニューアルします。



その他の主な事業

- アンフォーレ開館10周年再整備事業【637万円】
- 三河安城交流拠点推進事業【7億231万円】

ばしよ

●交通安全対策関連道路等整備事業【4億843万円】

歩行者、通学者等の安全性確保や車道交通の円滑性向上を図るため、歩道及び車道の整備を行います。



●止水板設置補助事業 【200万円】

家屋等への浸水被害を防止するため、止水板の設置を支援します。



その他の主な事業

- 名鉄西尾線仮設踏切道整備事業【1億3210万円】
- 廃棄物処理施設整備事業【7億2093万円】